



# 新デスティネーション 安徽省



▲世界遺産の黄山  
黄山は1990年に世界遺産登録された。面積は約1200平方キロメートルでそのうち重点観光区は154平方キロメートルに及ぶ。最高標高は蓮花峰の1864メートル。伝説上の王、黄帝がこの山で不老不死の霊薬を飲み、仙人になったという言い伝えから、黄山と呼ばれている。明代の地理学者徐霞客は「黄山に登れば天下山なし」と黄山を賞賛した。



▲黄山の迎客松  
世界遺産黄山には「黄山四絶(こうざんよんぜつ)」と呼ばれる見どころがある。奇松(珍しい松)、怪石(奇異な石)、雲海、温泉の4つを指す。天海風景区にある迎客松は代表的な奇松だ。



▲黄山の飛石  
黄山四絶の佳石(奇異な石)、飛石。中生代の花崗岩地形は黄山の特徴となっている。黄山は中国十大名所旧跡のなかで唯一の山岳景勝地で、名山らしく雄大で険しい。



▼黄山屯溪老街  
黄山市屯溪の老街という通りには明、清時代からの建物が残っている。茶、骨董品、墨、硯、筆、茶道具などの店が軒を連ね、中国伝統の品々を購入することができる。



▲李白の墓がある太白楼  
江蘇省南京市に隣接する安徽省馬鞍山市にある太白楼には、唐の詩人李白(701~762年)の墓がある。李白の生涯を描いた12点の壁画、太白碑林、眺青閣、青蓮湖などが見どころ。太白碑林には著名な書画家が揮毫した李白の各時期の代表的な詩碑106が埋め込まれている。

## 安徽省の概要

面積：約14万平方キロメートル  
都：合肥市  
人口：6593万人  
主な特産品：銘茶(黄山毛峰、祁門<キーモン>紅茶など)、安徽の文房四宝(宣紙、歙硯、徽墨、宣筆)、蕪湖の鉄画、古井貢酒、果物(ナシ、葡萄、ザクロ、サクランボ、ピワなど)  
地域の概要：長江と淮河流域に広がった華東地区の一部。世界遺産の黄山を筆頭に、中国仏教4大名山の九華山、道教4大名山の齊雲山、中国名山の天柱山など美しい山に囲まれた地域。かつては徽州と呼ばれ、古代中国の商業史に重要な地位を占めていた。  
食文化：安徽料理は中国八大料理の一つ。地元産の山の幸を中心に、スッポン、鳩なども材料となる。九華料理は伝統的な精進料理で、米羹に富んでいる。独特の食材に「毛豆腐」がある。  
主な観光名所：黄山、安徽古村落、屯溪、歴史名城一歙県、太平湖、徽州民居、九華山、三国志ゆかりの地一亳州(曹操、華陀の出身地)

## 中国における安徽省の位置



▲平天湖  
池州の東部にある平天湖は水域面積11万平方キロメートル。湖面が広く、天然の水の上運動場となっている。2004年には中国国家体育总局が主催するモーターボートの試合がここで行われた。湖上には、遊覧船埠頭、コーヒーバー、音楽広場、砂州、観湖亭などが建てられている。



▲世界遺産の安徽古民家部の宏村  
安徽省の宏村と西遞村は安徽省古民家部として2000年に世界遺産登録された。宏村は南宋(1127~1279年)の頃に建てられ現在では140棟が存在し、現在でも人々が実際に生活をしている。村の中心部にある池の水には白壁が美しく映し出され、その風景を撮影・デッサンするために訪れる人も多い。



▶安徽省重要文化財の包公祠  
安徽省の省都、合肥市にある包公祠は、北宋時代の有名な官吏である包拯(999~1062年)を記念して造られた包公公園の中にあり、安徽省の重要文化財に指定されている。敷地面積約30ヘクタール、水域面積約15ヘクタールの包公公園は、包公祠、包公の墓、清風閣、浮荘などの観光名所からなる。



▶黄梅戲  
黄梅戲は、京劇、越劇、評劇、豫劇と並んで五大中国伝統劇の1つに数えられている。唱法は純朴でなめらかな、明快で感情をよく表わし、豊かな表現力を持つ。その演技は簡朴できめ細かく、真に生き生きとしていることで知られる。



▲文房四宝の1つ、宣紙  
「文房四宝」とは筆、墨、硯のことを行い、古来より文人の書齋に揃っている中国の伝統的な四つの文房具。「文房四友」「文房四侯」とも呼ばれる。文房四宝には様々な種類のものがあり、中でも安徽省の徽墨と宣紙、浙江省の湖筆、広東省の端硯が最もよく知られている。

# 悠久の歴史伝統と山紫水明